

茨城県地域リハビリテーション総合支援事業
つくば保健医療圏茨城県指定地域リハ・ステーション

「第 57 回つくば地域リハ・セミナー」

-第 20 回症例検討会-

-茨城県理学療法士会第 1 回つくばブロック症例検討会-

プログラム・抄録集

日時:2015 年 3 月 8 日(日)

会場:筑波記念病院(つくば市)

日程

2015年3月8日(日) 8:45~18:50

会場

筑波記念病院 2号棟 2階 会議室
〒300-2622 茨城県つくば市要 1187-299 筑波記念病院内
TEL:029-864-1212(代表)

参加費

症例検討会:無料

主催・共催・後援

主催：つくば保健医療圏茨城県指定地域リハ・ステーション
(筑波メディカルセンター病院, いちはら病院, 筑波記念病院)

共催：公益社団法人茨城県理学療法士会
公益社団法人茨城県作業療法士会
茨城県指定地域リハビリテーション研修推進支援センター

後援：一般社団法人茨城県言語聴覚士会

演者・座長へのお知らせとお願い

一般口述発表演者

1. セッション A-E は「第 20 回症例検討会」、セッション F-H は「茨城県理学療法士会第 1 回つくばブロック症例検討会」として開催します。
2. セッション A-E は、発表時間 7 分、質疑 3 分です。セッション F-H は、発表時間 7 分、質疑 5 分です。時間厳守でお願いします。
3. 発表はすべて PC 発表と致します(35 mmスライドによる発表は受付致しません)。
4. 発表者は、セッション開始 10 分前までに会場にお越しください。次演者席での待機をお願い致します。

座長の方へ

座長は 30 分前までに会場前にて受付をお済ませ頂き、開始 10 分前までに、必ず次座長席にて待機して下さい。

質疑応答

1. 質疑は座長の指示に従い、所属・氏名を述べた上で簡潔にお願い致します。
2. 質疑要旨の記載および提出の必要はありません。

生涯学習プログラムの単位認定について

* 公益社団法人茨城県理学療法士会会員

- セッション F-H:「茨城県理学療法士会第 1 回つくばブロック症例検討会」の発表者の場合
 - ・新人教育プログラム対象の方
新人教育プログラムの「C-6 症例発表」または「B-4 症例報告・発表の仕方」の単位認定・取得となります。
 - ・専門・認定ポイント対象の方
専門認定に関するポイントの 10 ポイント+加算ポイント(5 ポイント)の単位認定・取得となります。
- 参加者とセッション D-E:「第 20 回症例検討会」の発表者の場合
 - ・新人教育プログラム対象の方
新人教育プログラムの「B-4 症例報告・発表の仕方」の単位認定・取得となります。
 - ・専門・認定ポイント対象の方
専門認定に関するポイントの 10 ポイントの単位認定・取得となります。

※ポイントを申請される方は、会員番号の明記されている、会員カードを必ずご持参ください。
後日認定手続きを取らせて頂きます。

* 公益社団法人茨城県作業療法士会会員

発表者は「現職者共通研修受講記録 2」又は、「生涯教育制度基礎研修ポイント 2 ポイント」の単位認定・取得となります。
参加者は「生涯教育制度基礎研修ポイント 2 ポイント」の単位認定・取得となります。
生涯教育手帳に当日証明致しますので、必ずご持参ください。

会場への交通



● 交通のご案内

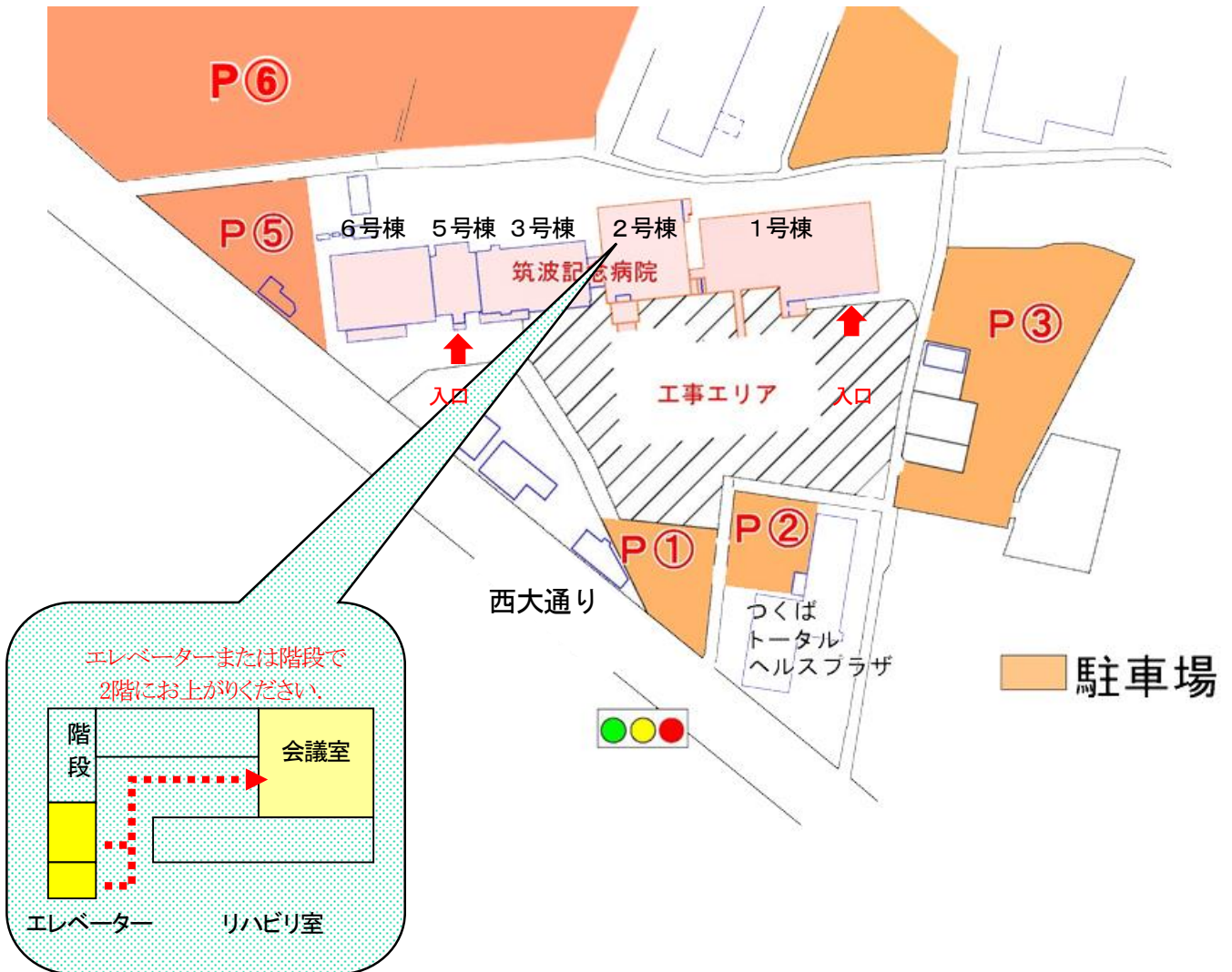
- 車** 常磐道谷田部インター・桜土浦インターから約25分
国道408号線(学園西大通り)沿い筑波大学附属病院北2km
- タクシー** JR常磐線土浦駅・荒川沖駅・ひたち野うしく駅から約25分
- バス** 高速バス：JR東京駅八重洲南口のりばから
「常磐高速バスつくば号」つくばセンター下車*
路線バス：JR常磐線土浦駅・荒川沖駅・ひたち野うしく駅から
「つくばセンター行」つくばセンター下車*
- 電車** つくばエクスプレス(TX) つくば駅下車*
*つくばセンターバスターミナル・TXつくば駅から筑波記念病院まで車(タクシー)で約10分です。

※駐車場は無料です

会場案内

筑波記念病院 2号棟2階 会議室

現在、新棟建設中のため、駐車場が下記の通りとなっております。ご迷惑をおかけします。



※当日の状況により出入り口が制限されてしまう可能性があります。
その際はご了承ください。

本会に関するお問い合わせ先

つくば地域リハ・セミナー 第20回症例検討会 事務局
(担当:筑波記念病院リハビリテーション部内 飯野・牧田)

TEL: 029-864-1212 FAX: 029-877-4688

E-mail: reha@tsukuba-kinen.or.jp

主催者代表挨拶

つくば保健医療圏内の3つの茨城県指定地域リハ・ステーションが主催しております「第57回つくば地域リハ・セミナー」第20回症例検討会を開催できましたことを喜ばしく思います。今回の症例検討会は、茨城県理学療法士会第1回つくばブロック症例検討会としての運営も合わせて行うこととなりました。つくば圏域や圏域外でリハビリテーションに従事している皆様方の意見交換の場となれば幸いです。

演題数は、5施設・45演題の応募がありました。ここに心から感謝、御礼を申し上げます。発表、参加を通して、今後の臨床に役立つ機会となることを期待しています。

また、ランチョンセミナーでは、筑波記念病院 理学療法士 田中直樹さんによる「電気刺激療法の基本」の講演を企画致しました。ぜひご参加下さい。

また、今回も公益社団法人茨城県理学療法士会、公益社団法人茨城県作業療法士会との共催になっております。加えて、生涯学習プログラムの履修単位、生涯教育制度基礎研修の履修単位として認定して頂き、参加される皆様の励みになることと存じます。また、一般社団法人茨城県言語聴覚士会からは後援を頂いております。各団体のご協力にはこの場をお借りして深謝申し上げます。

今後も末永く開催できるよう皆様のご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

つくば保健医療圏茨城県指定地域リハ・ステーション
筑波記念病院 リハビリテーション部 飯野和徳

プログラム

8:30～

受 付

8:45～8:50

開 会 式

8:50～14:45

第 57 回つくば地域リハ・セミナー・第 20 回症例検討会(口述)

セッションA 【8:50～9:50】

座長 : 浅野祐一 (筑波学園病院 作業療法士)

-
1. 高次脳機能障害を呈した症例の行動パターンに着目し、ADL 能力向上を目指した一例
長塚侑香 (筑波記念病院 作業療法士)
 2. 半側空間無視の症例が左側に気づき、ADL 能力を再獲得するまで
米原千晴 (筑波記念病院 作業療法士)
 3. 高次脳機能障害を呈した症例に対して、重要な作業の再獲得を目指した関わりについて
飯田絢子 (筑波記念病院 作業療法士)
 4. 統合失調症を有する脳梗塞患者に対し、目的志向型運動を導入した経験について
白井明日香 (いちほら病院 作業療法士)
 5. レビー小体型認知症の周辺症状に注目した患者を経験して
椎名真希 (筑波記念病院 作業療法士)
 6. 重度認知症患者への音楽を通じた介入を経験して
三浦祥 (筑波記念病院 作業療法士)

セッションB 【9:55~10:55】

座長 : 柴田朋子 (筑波メディカルセンター病院 作業療法士)

7. 覚醒、循環・呼吸状態が不良な脳内出血を呈した事例～離床時間の延長を目指して～
安田加奈 (いちほら病院 作業療法士)
8. ペットボトルを使用した肩関節外転保持装具の紹介
鳴海勝太 (筑波学園病院 作業療法士)
9. 抑うつ症状の患者に対し排泄動作に焦点をあてた作業療法を経験して
稲葉篤志 (筑波記念病院 作業療法士)
10. 片麻痺患者に対するCI療法を経験して
三枝美緒 (筑波記念病院 作業療法士)
11. 軸索型ギランバレー症候群を呈した症例に対する作業療法～障害受容に着目して～
相原佑樹 (筑波記念病院 作業療法士)
12. 末期がん患者に対してOTができること
松永徳子 (筑波記念病院 作業療法士)

セッションC 【11:00~12:00】

座長 : 小峰優佳 (いちほら病院 作業療法士)

13. 症例の発言を傾聴した介入によって慢性痛の軽減が得られた一症例を体験して
長岡孝久 (筑波記念病院 作業療法士)
14. できるADLをしているADLに繋げる工夫
飯島由佳 (筑波記念病院 作業療法士)
15. 失調症状を呈する症例が環境設定によって自宅復帰するまで
大塚玲那 (筑波記念病院 作業療法士)
16. 担当者会議でゴールを家族と共有することで自宅退院につながった症例を経験して
生方健一 (筑波記念病院 作業療法士)
17. 訪問リハビリテーションでの認知症利用者・家族への関わり ～周辺症状軽減を目標に～
高橋徹 (介護老人保健施設つくばケアセンター 作業療法士)
18. 調理練習を通して障害受容の一助となった脳卒中患者を経験して
渥美尚子 (介護老人保健施設つくばケアセンター 作業療法士)

ランチョンセミナー 【12:20~13:00】

電気刺激療法の基本

講師 : 田中直樹 (筑波記念病院 理学療法士)

セッションD 【13:10~13:50】

座長 : 柴田洋佑 (きぬ医師会病院 理学療法士)

19. 認知症患者の記憶障害に対し、視覚的情報を与えたことでトイレ歩行が可能となった症例
高橋佑子 (筑波記念病院 理学療法士)
20. 理学療法介入時間以外の過ごし方を提案し、耐久性向上を認めた症例
富田実穂 (筑波記念病院 理学療法士)
21. 骨転移を有する末期癌患者が自宅退院可能となった症例を経験して
前澤早紀 (筑波記念病院 理学療法士)
22. 下肢柔軟性と肩甲骨上方回旋角度、肩関節最大挙上角度との関連性
丹友樹 (広瀬医院 理学療法士)

セッションE 【13:55~14:45】

座長 : 竹内靖揮 (いちほら病院 理学療法士)

23. 胸腹部人工血管置換術後、早期退院が可能であった症例を経験して
唯野真 (筑波記念病院 理学療法士)
24. 後縦靭帯骨化症により不全脊髄損傷を呈した症例の歩行能力に着目した理学療法
古賀達也 (筑波記念病院 理学療法士)
25. 両片麻痺患者に対する理学療法を経験して
高島竜史 (筑波記念病院 理学療法士)
26. 小脳梗塞を発症し、運動失調を呈した症例を経験して
梁瀬翔矢 (筑波記念病院 理学療法士)
27. 右被殻出血を呈し体幹機能へのアプローチを行い座位能力が向上した症例を経験して
篠原正和 (筑波メディカルセンター病院 理学療法士)

14:50～18:45

茨城県理学療法士会第1回つくばブロック症例検討会(口述)

セッションF 【14:50～16:05】

座長 : 本田敏朗 (筑波学園病院 理学療法士)

-
28. 心大血管術後に脳梗塞を合併した症例 ～ICU病棟での早期離床を経験して～
武藤有海 (筑波記念病院 理学療法士)
29. 間質性肺炎をきたした患者の胸郭柔軟性が得られた症例に対して ～胸郭拡張差に着目して～
荻野晋治 (いちほら病院 理学療法士)
30. 心大血管術後に脳梗塞を発症した1症例～本人の自宅退院を叶えるために工夫した事～
小久保望 (筑波記念病院 理学療法士)
31. 悪性リンパ腫の中樞神経浸潤により両側視力障害の伴う歩行能力低下を呈した症例を経験して
岡田洋平 (筑波記念病院 理学療法士)
32. 既往に心疾患をもつ超高齢者の開腹術後の理学療法を経験して
清水諒平 (筑波記念病院 理学療法士)
33. 左被殻出血後に重度右片麻痺を呈した症例 ～トイレ動作獲得に向けた一考察～
下重絢香 (いちほら病院 理学療法士)

セッションG 【16:10～17:25】

座長 : 鈴木伸 (広瀬医院 理学療法士)

-
34. ADL全介助での自宅退院を目指した症例を経験して
絵面愛 (筑波学園病院 理学療法士)
35. 脳梗塞発症後、転倒により大腿骨頸部骨折を呈した骨粗鬆症患者を担当して
加藤隆三 (筑波記念病院 理学療法士)
36. 右下肢骨折後の右足部荷重時痛に対し、股関節に着目し歩容改善、疼痛改善がみられた症例
小日向朗 (いちほら病院 理学療法士)
37. 左大腿骨転子下不全骨折のため荷重制限のある症例の自宅訪問を経験して
三石ひかる (筑波学園病院 理学療法士)
38. 先天性両耳全聾の右人工骨頭挿入術後患者の理学療法を経験して
福田将大 (筑波記念病院 理学療法士)
39. 中殿筋の筋収縮の違いによってトレンデレンブルグ徴候の有無が変化した症例 ～遠心性収縮に着目して～
清田隼斗 (いちほら病院 理学療法士)

セッションH 【17:30~18:45】

座長： 田村泰一（筑波メディカルセンター病院 理学療法士）

40. 筋力低下により ADL 低下を生じた症例の自宅復帰に向けた介入 ～トイレ動作自立に向けての環境調整・治療～
酒寄志穂（いちほら病院 理学療法士）
41. 転倒により右大腿骨転子部骨折を受傷した症例を経験して～臥床傾向により体幹機能が低下した症例～
高阿田春奈（筑波学園病院 理学療法士）
42. 両変形性膝関節症に対して両側同時 TKA を施行された症例を経験して
竹田和樹（筑波記念病院 理学療法士）
43. 腰椎椎間板ヘルニアに対する ope を施行した一症例
小澤佑介（広瀬医院 理学療法士）
44. 右人工骨頭置換術を施行したパーキンソン症候群の症例～立ち上がり動作に着目して～
中島悠華（いちほら病院 理学療法士）
45. 右大腿骨外側顆骨折に対し保存療法となった症例を経験して
金子奈央（筑波記念病院 理学療法士）

18:45~18:50	閉会式
-------------	-----